

保育の必要な人の数についての試算（0～5歳全体）

町内の保育に欠ける人の状況（平成26年4月時点）

・葉山保育園	123人	} 認可保育所入所者 255人
・にこにこ保育園	96人	
・管外保育	36人	
・待機児童	28人	

 合計 283人 +

ニーズ調査の推計による保育の必要量

2号認定（3～5歳）のうち保育所希望

+ 3号認定（0～2歳）

H27 436人 H29 404人 H31 384人

各年度（H27、H29、H31）での試算

各年度	H27	H29	H31
保育の必要量	436人	404人	384人
認可保育所入所者	-255人	-255人	-255人
新規の保育枠（見込）	-109人	-109人	-109人
不足分（待機児童）	72人	40人	20人

潜在的なニーズをふまえると、現在予定している受入れ枠では将来的に対応できない。

年齢別の内訳をみると、3～5歳では余裕があるが、0～2歳（特に0歳）では保育の枠が大きく不足している。

(年齢別の内訳)

保育に欠ける人の状況(H26年4月時点) (人)

	認可保育所入所者	待機児童	計
0歳	19	9	28
1・2歳	81	16	97
3～5歳	155	3	158
計	255	28	283

ニーズ調査の推計による保育の必要量

- ・2号認定(3～5歳)のうち保育所希望と3号認定(0～2歳)
- ・新規の保育の受入れ枠(A、B、C)の見込数は、各施設の見込定員に現在の年齢別入所割合をかけあわせて算出。需給計画の試算のために、各施設の意向をもとに算出した数字であり、確定したものではない。

H27年度 (人)

	現状	見込み量	当初不足	A	B	C	不足分
0歳	19	81	62	5	2	4	51
1・2歳	81	147	66	19	10	15	22
3～5歳	155	208	53	36	18	0	1
計	255	436	181	60	30	19	72

H29年度 (人)

	現状	見込み量	当初不足	A	B	C	不足分
0歳	19	73	54	5	2	4	43
1・2歳	81	134	53	19	10	15	9
3～5歳	155	197	42	36	18	0	12
計	255	404	149	60	30	19	40

H31年度 (人)

	現状	見込み量	当初不足	A	B	C	不足分
0歳	19	70	51	5	2	4	40
1・2歳	81	127	46	19	10	15	2
3～5歳	155	187	32	36	18	0	22
計	255	384	129	60	30	19	20

幼稚園の定員数と入所者数（3～5歳）

子育て支援情報サービスかながわのデータ

	定員数	入所者数
・ あおぞら幼稚園	105人	72人
・ あけの星幼稚園	210人	204人
・ どれみ幼稚園	140人	140人
・ 御国幼稚園	315人	220人
・ 明照幼稚園	175人	271人
<hr/>		
合計	945人	907人

認可保育所の定員数と入所者数（平成26年4月時点）

	定員数	入所者数
・ 0歳～2歳	73人	100人
・ 3歳～5歳	112人	155人

年齢別の定員数は、入所者の年齢別割合で按分して算出。

町内の年齢別人口（平成26年4月現在）

・ 0歳～2歳	708人
・ 3歳～5歳	900人

年齢別人口と定員・入所者数の比較

3歳～5歳

定員数 1057人（945 + 112） > 人口900人

入所者数 1062人（907 + 155） > 人口900人

3歳～5歳では、幼稚園と保育所をあわせると人口に対して飽和状態

保育の確保方策（案）について

1 試算から浮かび上がる傾向

子どもの数は減少するが、保育ニーズは高い。

3～5歳では幼稚園を含め、受入れ枠に余裕がある。
むしろ飽和状態になっている。

0～2歳（特に0歳）の保育ニーズがきわめて高い。
予定している受入れ枠では、将来的に対応できない。

2 保育の確保方策（案）と課題

認可保育所の新設

既存の認可保育所・幼稚園の経営を圧迫する。

認可保育所による0～2歳の受入れ枠の増
受入れ増には限界がある。

5割以上受け入れれば、持ち上がりとならない。
配置人員が増え、経営的に厳しくなる。

幼稚園の認定こども園への移行（0～2歳の受入れ）
給付体系が大きく変わる。

給食施設の整備など移行への負担が大きい。

0～2歳を主な対象とする地域型保育給付の施設の新設

- ・ 小規模保育（利用定員6人以上19人以下）
- ・ 家庭的保育（利用定員5人以下）
- ・ 居宅訪問型保育
- ・ 事業所内保育（地域開放型）

担い手と提供場所が見つかるか？